

# 不登校対策支援プラン

## プランの策定にあたって

更新日 4 月 1 日

県内において不登校児童生徒数が増加傾向にある中、不登校対策では、対象や課題性に基づいた取組が求められています。全ての児童生徒を対象とした取組や不登校の予兆が見られる児童生徒への支援、欠席が継続している児童生徒への支援を組織的かつ計画的に行うことが必要です。

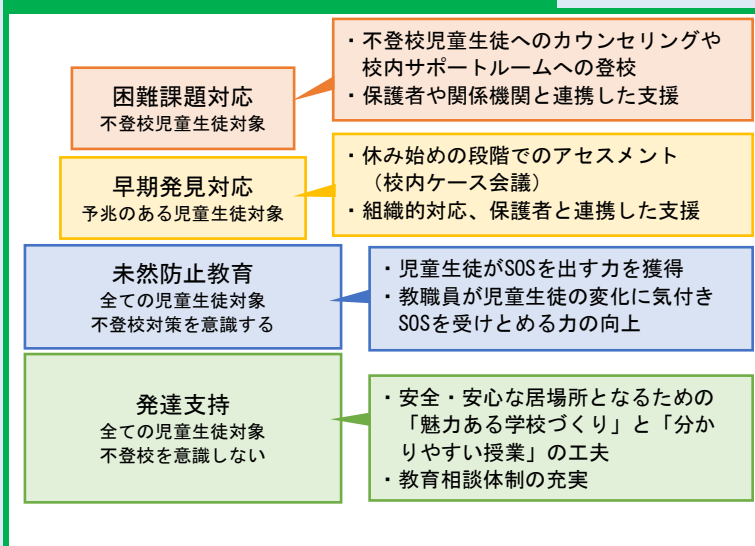
本校では、実態を把握し、以下の目標や取組を設定し、教職員が一丸となり対策を進めることで、誰一人取り残すことのない、持続可能な不登校対策や支援を行います。

## 不登校対策の目標

- 1 すべての生徒が「居場所」を感じられる学校・学級づくりをする。
- 2 校内サポートルームなど、多様な学びの場を確保し、不安やストレスを解消することで安心して学校に登校できる環境づくりをする
- 3 不登校生徒がスクールカウンセラーや関係機関等と連携できるように学校がつながり役となり、社会的自立をめざした支援や誰一人取り残さない取組を進める。

## 不登校対策における重層的支援構造

参考：生徒指導提要R4.12



## 不登校対策チーム構成

管理職、特別支援コーディネーター、生徒指導（生活指導）担当、学年代表、養護教諭、スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）、該当担任等

## 不登校児童生徒支援関係機関等

宍粟市教育委員会、宍粟市教育支援センター、市青少年育成センター、しそう学校サポートチーム、宍粟市家庭児童相談室、学校運営協議会

## 4つの層での取組 等

### 発達支持

- ・教師が一人ひとりの良さを認め、肯定的な関わりをすることで自己肯定感を育む。
- ・達成感と主体性を引き出す「魅力ある授業づくり」や「居心地のよい学級づくり」を実践する。

### 未然防止教育

- ・担任とSCが連携し、ストレスマネジメント力の育成や相談できる力を身につけるための特別授業を実施する。
- ・家族や先生以外にも、SNS相談や24時間電話相談などのリソースがあることを伝える。
- ・担任と定期的な二者面談など、日々の困り感に寄り添う教育相談の実施

### 早期発見対応

- ・毎日の健康観察（L-gate）、個別相談、ICTを活用した発信等により、「不登校の兆候」を見逃さない。
- ・学期ごとにアンケートを実施し、複数の教員が多面的に状況を把握し、迅速に対応する。

### 困難課題対応

- ・校内にサポートルームを設置し、安心して過ごせる場所を確保する。
- ・教育支援センター等と連携し、自宅に引きこもってしまわないような対応をする。